

2007年

**5**  
月号

# 組合会報

〈発行所〉  
**埼玉県鍍金工業組合**  
 〒331-0811

さいたま市北区吉野町2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

吉田 勇

〈編集人・総務委員長〉

柿沼信夫

## —今月号の主な内容—

「感ずるままに」副理事長 山本 正宏	2	埼玉県めっき技術競技会	5
平成19年新春賀詞交歓会	3	人材確保推進事業について	10
第5回 埼玉県化学物質円卓会議	4	男女雇用機会均等法が変わります！	12



埼玉県障害者交流センター（さいたま市）

# // 感ずるままに //

**埼玉県鍍金工業組合 副理事長 山本正宏**

私共の会社には大企業を定年退職され第2の人生を送るには、まだ早いと云う方々が3名おります。



こうした方々は大企業の良い面を私共に提供していただき大いに助かっており、弊社のありかたを根幹から改革しようと努力を重ねてくれておられます。従業員のなかで今までと違ったシステムに抵抗

する者もいて一気に改革するには困難な状況でした。しかしながら新しい方向性に気付き改革を進めなければいけないとする気運が次第に出来上がり、時間は多少かかりましたが職人の世界からワンステップ上の方向へまとまってこ

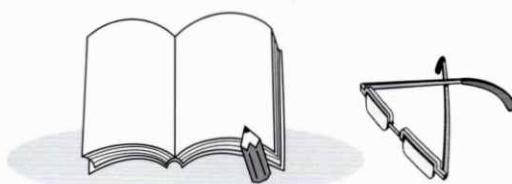
あるユーベガ最後に指摘事項をいくつか書き上げて宿題をくれるのですが、その際相手のリーダーの方から「ミクロ

さんは従業員の皆さんが監査になれているようでパートの方からもすぐ答えが返ります。相当慣れてますね。」

このような企業体質の改善を従業員に理解させる上で仕事を請け負う際に必ず入るユーベガの監査が大いに役立つております。相手企業が上場会社であれば必然的に高い要求を求められ従業員も仕事としてやらない訳にはいかない

した一瞬がありました。

しかしながら新しい仕事が共では新たな改革のチャンスととらえユーベガを迎えたのですが、シーズン毎に監査が立て続けにあるとさすがにうんざりし現実には疲れを感じる次第です。



平成19年

# 新春賀詞交歓会



埼玉県鍛金工業組合（吉田勇理事長）は、恒例の賀詞交歓会を平成19年1月23日（火）午後2時よりさいたま市大宮サンパレスにおいて開催した。

今年3月には大企業の決算が発表される。新聞報道によれば史上最高の決算が出るだろうといわれている。我々中小企業は冷たい環境の中にまだいる。そして格差がありますが、広がってきていると感じている。

大企業の中にも成長されたところや、一方業績に悩んでいる企業もあります。一例をあげるとソニーが厳しい状況にある。

昨年リチウム電池の大きなトラブルが発生し、多大な経費が発生したと言われている。ソニーといえば過去、品質で世界を制覇したかというとある雑誌によれば改革という名のもとにアメリカ的経

に引き続いて吉田勇理事長は主催者を代表して次のように挨拶した。

「日本経済は順調のようで、戦後のいざなぎ景気を超えている。

今年3月には大企業の決算が発表される。

新聞報道によれば史上最高の決算が出るだろうといわれている。我々中小企業は冷たい環境の中にまだいる。そして格差がありますが、広がってきていると感じている。

大企業の中にも成長されたところや、一方業績に悩んでいる企業もあります。一例をあげるとソニーが厳しい状況にある。

昨年リチウム電池の大きなトラブルが発生し、多大な経費が発生したと言われている。ソニーといえば過去、品質で世界を制覇したかというとある雑誌によれば改革という名のもとにアメリカ的経

営手法のやみくもな導入による結果であると言っている。その手法のひとつに成果主義というのがあります。業界も悲觀したものではないと思う。

今年はいのしし年ですが、いのしし」というと猪突猛進という言葉が出て来ますが、かたやいのしし社内に蔓延し、短期的収益に貢献しない業務、たとえば品質保持のための検査等が軽んじてしまう。こういったことが原因といわれている。

又、トヨタ自動車は昨年のリコール台数が200万台だそうです。国内メーカーの日産、ホンダは約20万台前後だそうですから、いかにこの数字が大きいか。

ある雑誌によればトヨタ自動車のあくなきコスト追求の限界がきているのではないかと思う。ギリギリの規格の素材を使って部品を下る下請も出て来ているのではないかと言われている。

日本から品質という信用がなくなり、野口武副理事長の開会挨拶もあり、柿沼信夫総務委員長の司会で始まり、

なると日本の製造業はやつてゆけません。日本の産業を支えているのは中小企業です。

比べて非常に力を持っていると思ふ。我々が頑張れば、日本の製造業も悲觀したものではないと思う。

今年はいのしし年ですが、いのしし」というと猪突猛進という言葉が出て来ますが、かたやいのしし

が賢い動物といわれている。

私は英知をだしてこのむづかしい時代を乗り切っていこうと思います。組合発展のためにもよろしくご協力をお願い致します。」

次に来賓祝辞に移り、衆議院議員 新藤義孝氏、埼玉県産業労働部部長 飯島和夫氏、埼玉県議会議員 奥ノ木信夫氏、同産業技術綜合センター総長 遠藤勲氏、全

国鍛金工業組合連合会会長 大村功作氏の各氏よりご祝辞をいたしました。

祝電披露ののち、島村周作常任顧問理事の発声で乾杯、山本正宏副理事長の閉会挨拶で、なごやかなうちに宴を閉じた。

平成19年1月23日(火)

## 臨時総会開催される

平成19年1月23日(火)午後1時30分より大宮サンパレスにおいて臨時総会を開催した。

柿沼信夫総務委員長の司会で始められ、主催者を代表して吉田勇理事長は次のように挨拶した。

「本日は大変おいそがしいところ多數の組合員の出席を賜わり、ありがとうございます。日頃は組



合運営につきまして多大なご協力を賜わり高い席からではございませんが厚くお礼申し上げます。

本日の臨時総会はご案内のように去年1年間かけまして、練つてまいりました賦課金改定の件でございます。

賦課金改定については定款第19条に総会で決めることとなつておりますので臨時総会を開催した次第です。どうぞよろしくお願ひします。」

議長に島村周作氏、書記に小松原秀元氏を選任した。生形満男、牧野清孝の両氏を議事録署名人に指名した。

島村周作議長より平成19年度賦課金改定の件を上程し、小林満専務理事が「ここ数年組合員数の減少、事業収入のうち受人事務手数料の減少、組合施設の維持管理費の増加と組合財政にとつて厳しい状況が続いている。このままでは健全な運営は困難になる。平成18年度賦課金改定委員会を設け、検討を続け、去年12月に賦課金改定

案(増額)の提示をいたいた。この案にもとづき平成19年度より賦課金の改定を行ふことを上程する。尚改定案は均等割部分を月額2千円の増額とする」と説明しました。

賦課金改定案は満場の拍手で可決承認された。

案(増額)の提示をいたいた。この案にもとづき平成19年度より賦課金の改定を行ふことを上程する。尚改定案は均等割部分を月額2千円の増額とする」と説明しました。

本日のテーマは「環境リスクを減らすため私たちにできること」です。

明治大学理工学部教授 北野大先生、社団法人日本化学工業協会常務理事 中田三郎様、埼玉県環境保全連絡協議会会长 高木克弘様、リンテック株式会社環境保全室調査役 真崎伸一郎様、埼玉県鍍金工業組合理事長 吉田勇様、環境NPOバルディーズ研究会運営委員会 角田季美枝様、NPO法人埼玉環境カウンセラー協会会長伊藤安男様、公募委員 新木壽二雄様、林由季子様、行政さいたま市環境経済局環境部次長 吉永洋治様、川口市環境部環境保全課長佐藤憲男様、事務局は埼玉県青空再生課

## 第5回 埼玉県化学物質 円卓会議

第5回埼玉県化学物質円卓会議が平成19年1月22日(月)午後3時より埼玉会館小ホールにおいて開催された。

埼玉県化学物質円卓会議は県民、環境NPO事業者、行政等の様々

な立場の委員からなり、環境リス

『埼玉鍍金工業組合』と言うのは、

埼玉県内に立地する電気めっき業者によつて昭和40年に組織された団体であります。

創立47年の歴史を有する組合で現在は100社の組合員で構成されており県内の組織率は約80パーセント位ではないかとおもわれます。

又、我々の上位団体として全国鍍金工業組合連合会とあるのがあり28工業組合によつて組織されております。

先ず電気めつきと言うのはどうゆう仕事か、又電気めつきはどうゆう分野に用いられているのか申し上げますと、電気めつきとは電気と化学薬品を用いて被めつき品に各種の金属を析出させ機能を付与すると言つた仕事であります。

具体的取り組みとしては、先ず組合員の環境に対する意識の向上を促進であります。環境問題は単発な問題では無く永遠のテーマであるとの認識のもと、年に一度全組合員を集め行政の協力のもと新たな法規制や最新の環境行政、環境技術等の講習会を開催しております。全員出席を義務としており

多機能を有するものとなつております。

比喩でよく「めつきが剥がれる」と首う言葉を聞きますが、これは物質や技術が不備の時代の話で今日のめつきは決して剥がれるものではなく最早死語と言えます。

次に、めつき業と環境との関わり合いでありますが、先程申し上げましたようにめつきでは多種類の化学薬品を使用すると言うところに在ります。そもそも、組合が組織されたきっかけが水質汚濁防止法が施行された事によります。以後水質、大気、土壤等の法規制に対応すべく組合をあげて取り組んできております。

埼玉組合単独の取り組み以外として全国鍍金工業組合連合会内に組織されている環境対策委員会と連携し難解な問題の対応にも取り組んでいます。

昨年11月に行われた全国鍍金工業組合連合会の全国大会では、「環境との共生」サブタイトルが「水と空気と住みよい地球を」を大会スローガンとして決定しました。

よりさいたま市大宮区大宮サンパレスにおいて開催した。

二件の講演会が行われた。

#### ・最近の表面改質処理

めつきと熱処理との融合

山方技術士事務所 山方三郎氏  
新技術等の講習会を開催しております。

皆様が今お持ちの携帯電話もめつき技術でこんなに小さく、軽く、

主催率は99パーセントと高率であります。又、関連事業として毎年内に計量検定証明事業所を設立、排水管理優良事業所の表彰を行つております。これも県の協力をえて数段階の表彰を行つております。

フォロー事業として組合事務所にて開催を始め産業廃棄物等の化分析を、また外部検査機関と提携し作業環境測定を行つております。主席率は99パーセントと高率であります。又、関連事業として毎年内に計量検定証明事業所を設立、排水管理優良事業所の表彰を行つております。これも県の協力をえて数段階の表彰を行つております。





## 講演会

### 最近の表面改質処理

#### II めっき熱処理との融合 II

講師 山方技術士事務所

所長 山方三郎

- ① めっき技術、熱処理技術ともに日本のものづくりの基礎技術
- ② 中小企業ものづくり基盤技術の高度化法でめっき技術、熱処理技術が指定された。



### めっき技術と熱処理技術の比較

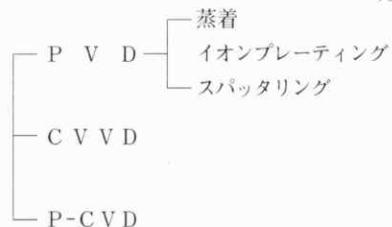
#### ① 分類

	めっき	熱処理
加熱	常温（一部時効加熱あり）	高温（150から250°C）
耐摩耗性	黒ニッケル、黒クロム ニッケル-リン、ニッケル銅、他	浸炭焼入れ、窒化、 高周波焼入れ、他
耐病害性	——	窒化、浸炭焼入れ 高周波焼入れ、ハードショット
耐食性	亜鉛、カドミウム亜鉛-鉄、 クロメート、他	窒化
表面改質	気相めっき	気相めっき

- 熱処理について
- ① めっきでは母材がほとんど影響を受けない。
  - ② 热処理は母材を変化させて強度、韌性を出す。
- その一例を示すとS45C材の焼入れ、焼戻し、窒化

- ① 新しいめっき技術の開発への期待
- ② これから表面処理の行方
- ③ めっき熱処理と共通する表面改質の更なる開発
- ④ ものづくりの基本は「品質」
- ⑤ 「安全」「熟練」「種智」
- ⑥ 日本のものづくりを支えていこう。

連絡先 山方技術士事務所  
所長 山方三郎  
埼玉県富士見市西みずほ台  
電話 049(290)4174  
2110 万輝ハイム201



#### ② 各プロセスの比較表

比較項目	P V D	低温C V D	中温C V D	高温C V D	P-C V D
皮處理方法	TiN, TiC, TiCN プラズマ反応	W2C 熱化学反応	TiCN 熱化学反応	TiN, TiC, TiCN 熱化学反応	TiN, TiC, TiCN, DLC, TIALN プラズマ反応
温度	200~600	500~600	700~900	約1000	約200~600
圧力	10 <sup>-3</sup> ~10 <sup>-4</sup>	50~760	50~760	50~760	10 <sup>-2</sup> ~10
密着性	△ ○ △ ○ ○ ○	△ △ ○ ○ △ △	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ △ △ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
寸法精度	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○
局部的被覆	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○
重量物の処理	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○
作業環境	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ △ △ ○	△ ○ ○ ○ ○ ○
ランニングコスト	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ △ △ ○	○ ○ ○ △ △ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
前処理	Tiコート必要	Niめっき必要	不要	不要	不要

## 亜鉛めっき用防錆塗料について

### II カンペエコシールド II

・講師 関西ペイント株式会社

自動車塗料本部機能材料技術

第2部課長 加藤善紀

カンペエコシールドとは鉛やクロムなどの有害な重金属を一切含まない環境・人体にやさしい水性のコーティング材です。

特殊な有機樹脂を主成分として、薄膜で強靭な耐久性に優れた被膜を形成します。

亜鉛めっき、亜鉛合金めっきや



- 特長
  - ① 安全・衛生・無公害→水性、非陥物、有害成分含有せず
  - ② 塗装が容易→ディップティング又はスプレー塗装=複雑な形状にも対応
  - ③ 低温乾燥→亜鉛めっきの熱劣化防止、80℃乾燥
  - ④ 薄膜仕上げ→2~5μm、ネジ込み特性に影響なし
  - ⑤ 良好な耐食性→黒色3価クロメート上でSST 500時間白錆5%以下
  - ⑥ 漆黒性の付与→1~2μmで素材に漆黒性を付与
  - ⑦ カンペエコシールドには乾燥後の塗色がクリヤーと黒の2品種があります

アルミ材等に対する付着が良好で、3価クロメート上で良好な耐食性を示します。塗料はクリヤーと黒の種類を用意しており、特に黒塗色については薄膜で漆黒性の高い意匠をご提供することができます。

● 表彰式

本社 横浜営業部神奈川県横浜市金沢区福浦1-15-16 電話 045(784)5566 担当 下振(シモブリ)、栗田(アワタ)

講演会終了後、小林満専務理事と、主催者を代表して吉田勇理事長は、山本正宏副理事長の開会の辞のあとの司会進行で表彰式が行なわれ、

お問合せ先

株式会社カンペ自動車塗料販売 埼玉地区担当 東京都西多摩郡瑞穂町二本木551-2 電話 042(557)1481 担当 岩村

今年になりまして景気のほうも足踏みをはじめたようで、心配する状況が出てきている。めつき、「今年の全鍍連全国大会において『環境との共生』という大会口号を決定し、サブタイトルとして「水と空気と住みよい地球を」を採択した。

技術競技会は今回が49回を数え、来年は50回の節目を迎える。技術コンクールが50年も継続されるのは大変珍しい。我々の技術技能を

もひとえに関係各位の皆様がたの努力の賜であると感謝申し上げます。更に60年、100年へと継続してゆきたいと思う。



平成19年5月21日

今日表彰を受けられる事業所はリーダーですので、これからも先頭に立つて環境問題に取り組んでいただきたい」と挨拶した。

続いて埼玉県環境部副部長金子茂様、同産業技術総合センター研究所長白山琢持様、同中小企業団体中央会大宮支所長根本修一様より祝辞があり、祝電披露に続き表彰式が行なわれた。

**平成18年度**  
**埼玉県めっき技術競技会表彰式**  
経過報告を今井昭雄技術教育委員長、黒沢久技術教育副委員長より発表され、賞状を授与された。

武藏工業大学名誉教授星野重夫氏より「今回からクロメート処理を3価クロメート処理に統一して競技会を行った。これは大変なことで、ほかではまだこのような競技会は行われていない。この点で採点方法も苦労した。思った以上に耐食性は良かつた。バラツキの多かったのはバレルで特にめつき厚で差があり、技術の改良の余地があると思う。このような機会を

利用して社員教育にも活かしていただきたい」と講評された。

#### 表彰事業所（別表1）

続いて平成18年度排水管理優良事業所表彰式が行なわれ、経過報告を大塚一弘環境保全対策委員長より、石下一明委員より発表され、賞状を授与された。

以上2つの表彰式のあと、受賞企業を代表して小松原鍍金工場代表者小松原秀元氏が謝辞を述べた。

野口武副理事長より閉会の挨拶があり、表彰式を終了し、会場を移して、懇親会を開催した。平成18年度排水管理優良事業所として表彰された。

#### 表彰事業所（別表2）



(別表1)

平成18年度（第49回）埼玉県めっき技術競技会審査結果

部 門 表彰区分	装飾用 クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用 クロムめっきの部	パレルめっきの部
埼 玉 県 知 事 賞	小松原鍍金工場 熊谷市銀座3-112	昭和鍍金㈱ 草加市稻荷1-10-25	ダイヤ技研㈱ 戸田市笛目北町12-4	押尾化学工業㈲ 横瀬町横瀬5765-8
埼 玉 県 産 業 労 働 部 長 賞	(有)小林鍍金工業 川口市領家5-13-22	押尾化学工業(有) 横瀬町横瀬5765-8	川口ハードクロム工業(有) 川口市弥平1-18-1	(株)小林鍍金工業 さいたま市中央区下落合1087
埼玉県産業技術総合センター総長賞	(株)サニー電化 戸田市下笛目116	(株)サン化学 熊谷市石原1721	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19	カツデン(株) 草加市稻荷2-3-1
埼玉県中小企業団体中央会長賞	(株)甲斐野テックス 川越市志多町17-14	(有)阪本鍍金 さいたま市南区太田窪4-4-3	(株)精硬クローム工業 川口市東領家4-18-10	(株)古河電鍍 上尾市領家1152-30
埼玉県鍍金工業組合理事長賞	(有)渡辺鍍金工業所 戸田市新和1-187-1	(株)古河電鍍 上尾市領家1152-30	新硬クローム工業(株) 鳩ヶ谷市南3-18-18	昭和鍍金(株) 草加市稻荷1-10-25
フジサンケイ ビジネスアイ賞	(有)今井メッキ工業所 三郷市新和1-187-1	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19		(有)朝日メッキ工業所 鴻巣市市ノ繩119
産 業 通 信 社 賞	(有)坂寄鍍研精工 鳩ヶ谷市南6-17-40	(株)サイトウメッキ 川口市前川2-34-7		マエダ鍍金工業(有) 川口市朝日4-21-62

(別表2) 平成18年度排水管理優良事業所(平成17年10月～平成18年9月)

連続年数	表彰事業所	連続年数	プレート授受事業所	連続年数	プレート授受事業所
6年連続	埼玉県環境部長感謝状	第1支部		第5支部	
第1支部	新田興業(株)	6年連続	新田興業(株)	1年	カツデン(株)
第3支部	栄電子工業(株)	1年	ダイヤ技研(株)	8年連続	五光鍍金工業(有)
第5支部	双葉硬質クローム工業所			12年連続	(有)小林鍍金工業所
		第2支部		6年連続	双葉硬質クローム工業所
3年連続	埼玉県鍍金工業組合理事長賞	4年連続	(株)甲斐野テックス	5年連続	(株)安藤化成 埼玉事業所
第5支部	吉野電化工業(株) 第1工場	5年連続	(株)島崎鍍金	3年連続	吉野電化工業(株) 第1工場
		1年	(株)長沢製作所		
		3年連続	日新電化(株)	第6支部	
		2年連続	三善工業(株)	2年連続	(株)小林鍍金工業
				3年連続	仁科工業(株)
		第3支部		9年連続	(株)東工業
		3年連続	(有)川口製作所	26年連続	兼松精鍍工業(有)
		6年連続	栄電子工業(株)	4年連続	(株)大宮鍍金工業
				4年連続	(株)大宮鍍金工業 吉敷
		第4支部			
		2年連続	東洋硬化クローム(株)	第7支部	
		2年連続	双葉メック工業(株)	1年	(株)小林鍍金工業
		1年	(有)吉田商店	7年連続	精硬クローム工業(株) 第1
				7年連続	精硬クローム工業(株) 第2
		第5支部		1年	領家工業(株)
		23年連続	(株)イシワタ	2年連続	(有)坂寄鍍研精工
		2年連続	(有)池澤鍍金工業所	2年連続	(有)明光社

# 会議報告

## ◆第1回推薦会議

平成19年2月7日(水)

大宮サンパレス3階寿の間

(出席者11名)

A M 11時～11時30分

平成19年度理事候補者について

## ◆第2回推薦会議

平成19年3月16日(金)

場所 組合会議室(出席者11名)

議題 新理事候補者の確認

・アウトサイダー入会について

・分析職員について

・出席率について(平成17・18年の理事会・各委員会)

・の理事会・各委員会)

## ◆理事会・新理事候補者会議

平成19年4月24日(火)

場所 組合会議室(出席者17名)

議題

・平成18年度決算書・平成19年度収支予算案について

・平成19年度新理事及び役員候補者(理事21名)

第1支部

島田 幸昌  
井上 宣雄  
饗場 功治

(有)島田工業所  
(有)新田興業(株)  
(株)潮工業

島田 孝男  
高林 新一郎  
杉田 俊邦

(有)西武化学金属工業所  
(株)島崎鍍金  
(株)三善工業(株)

吉田 哲  
矢沢 元夫  
熊木 孝之

(株)今井メック工業  
(株)東洋硬化クローム  
(株)吉野電化工業(株)  
(有)池澤鍍金工業所

第3支部  
吉田 勇  
高林 佳司

(有)吉田商店  
(有)今井メック工業所

第4支部  
吉田 勇  
高林 佳司

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第5支部  
吉田 勇  
高岡 生形  
今井 昭雄

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第6支部  
吉田 勇  
高岡 生形  
今井 昭雄

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第7支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第8支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第9支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第10支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第11支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第12支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第13支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第14支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第15支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第16支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第17支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第18支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第19支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第20支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第21支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第22支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第23支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第24支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第25支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第26支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第27支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第28支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第29支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第30支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第31支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第32支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第33支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第34支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第35支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第36支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第37支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第38支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第39支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第40支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第41支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第42支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第43支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第44支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第45支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第46支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第47支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第48支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第49支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第50支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第51支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第52支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第53支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第54支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第55支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第56支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第57支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第58支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第59支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第60支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第61支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第62支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第63支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第64支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第65支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第66支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第67支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第68支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第69支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第70支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第71支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第72支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第73支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第74支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

第75支部  
吉田 勇  
大塚 野口  
小築 満

(株)小林鍍金工業  
(株)仁科工業(株)

## 人材確保推進事業について

## 経営者意識調査報告



皆様に心より御礼申し上げます。

この5年間に亘る事業の成果を  
今後の組合活動に活かしていきた  
いと思います。ご協力をいただい  
た組合員の皆様ありがとうございます。  
また。又、ご指導いただいた(独)  
雇用能力開発機構埼玉センターの  
皆様に心より御礼申し上げます。

平成14年度より平成16年度の3  
年間(第1種人材確保推進事業)続  
いて平成17年度、18年度の2年間  
(第2種人材確保推進事業)の助  
成を受けました。最終18年度は昨  
年度より向上し、60社より回答を  
寄せられ約20頁の小冊子にまとめ  
ました。是非ご一読ください。

## キャリア形成促進助成金の概要

## I 訓練等支援給付金(仮称)

訓練等支援給付金(仮称)は、従業員(雇用保険の被保険者に限ります。)のキャリア形成を促進するために年間職業能力開発計画に基づき、次の①から④に取り組む事業主に対して支給するものです。ただし、取り組む内容によっては、大企業へ支給できない場合もあります。

- ① 職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるため、従業員に職業訓練を行う事業主  
(対象:中小企業のみ)

■助成対象となる訓練形態	◆支給額等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF-JT(※)により実施される訓練 (事業主が自ら企画し実施する訓練又は教育訓練機関で実施される教育訓練)</li> <li>・ 10時間以上で実施する訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練実施に要した経費の1/3に相当する額 (訓練を実施するための設備・会場の借上げ料、教科書代・教材費、部外講師の謝金、教育訓練機関に支払う入料料及び受講料)</li> <li>・ 訓練実施時間に応じて支払った賃金の1/3に相当する額</li> </ul>

※「OFF-JT」とは、生産ライン又は就労の場における通常の生産活動と区別して業務の遂行の過程外で行われる訓練をいいます。

- ② 雇用している非正規労働者(※1)を正規労働者へ転換するなどのために、体系的・段階的な職業訓練を行う制度を就業規則又は労働協約等に設け、その制度に沿った職業訓練を実施する事業主  
(対象:大企業・中小企業(※2))

■助成対象となる訓練形態	◆支給額等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF-JTにより実施される訓練 (事業主が自ら企画し実施する訓練又は教育訓練機関で実施される教育訓練)</li> <li>・ 10時間以上で実施する訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練実施に要した経費の1/3(中小企業は1/2)に相当する額 (訓練を実施するための設備・会場の借上げ料、教科書代・教材費、部外講師の謝金、教育訓練機関に支払う入料料及び受講料)</li> <li>・ 訓練実施時間に応じて支払った賃金の1/3(中小企業は1/2)に相当する額</li> </ul>

※1 非正規労働者は次のいづれかに該当する者をいいます。

- ① 1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者の1週間の所定労働時間に比べて短い労働者(パートタイム労働者等)
- ② 1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者の1週間の所定労働時間と同等以上の者で、期間を定めて雇用されている労働者(契約社員等)

※2 この助成措置は、制度を導入してから2年間の助成措置となります。2年を経過した後は、上記①の助成措置へ移行されますので、中小企業の助成率は1/3となり、大企業は助成対象となりませんので、ご留意ください。

③ 厚生労働大臣の認定を受けた「実践型人材養成システムによる訓練（※1）」を実施する事業主  
(対象：大企業・中小企業)

**■助成対象となる訓練形態**

- ・企業内におけるOJT（※2）と教育訓練機関で行われる教育訓練（OFF-JT）を適切に組み合わせて実施する訓練
- ・実施期間6ヶ月以上2年以下
- ・総訓練時間を1年あたりの時間数に換算して850時間以上であること。そのうち、OJTの実施時間が総訓練時間の2割以上8割以下であること。

**◆支給額等**

- ・OFF-JTによる訓練の実施に要した経費の1/4（中小企業は1/3）に相当する額（教育訓練機関に支払う入会料及び受講料）
- ・OFF-JTによる訓練の実施時間に応じて支払った賃金の1/4（中小企業は1/3）に相当する額
- ・OJTによる訓練の実施時間に応じて受講者1人につき1時間600円

※1 職業能力開発促進法第10条の2に規定された訓練で、教育訓練機関等で実施される座学等（OFF-JT）と事業所で実施するOJTを適切に組み合わせて実施される訓練をいいます。

※2 「OJT」とは、業務の遂行の過程内における実務を通じた実践的な技能及びこれに関する知識の習得に係る職業訓練をいいます。

④ 従業員の自発的な能力開発を支援する制度（自発的職業能力開発経費負担制度及び職業能力開発休暇制度）を就業規則又は労働協約等に設け、従業員の能力開発の経費を負担したり、職業能力開発休暇を与える事業主（対象：大企業・中小企業）

**■助成対象となる訓練形態**

- ・教育訓練機関により実施される教育訓練
- ・業務命令でなく、労働者が自発的に受講する教育訓練・職業能力検定・キャリア・コンサルティング

※教育訓練機関によっては、訓練時間の下限が設けられていますので、詳しくは、機構各都道府県センターへお問い合わせください。

**◆支給額等**

- ・事業主が負担した能力開発に係る経費の1/4（中小企業は1/3）に相当する額
- ・職業能力開発休暇期間中の訓練時間に応じて支払った賃金の1/4（中小企業は1/3）に相当する額
- ・制度導入に係る奨励金  
制度導入後3年以内に、その制度を利用して能力開発を行った者が発生した場合には、次のとおり支給

a 中小企業の事業主

それぞれの制度を導入し、その制度を利用して能力開発を行った者が発生した場合に、それぞれ15万円を支給（1事業所1回に限る）

また、各制度利用者1名につき5万円支給（1事業所あたり延べ20人を限度）

※2つの制度のうち、どちらが一方の制度を導入した場合でも支給されます。

b 大企業の事業主

「職業能力開発休暇制度」を導入し、その制度を利用して教育訓練（訓練時間が80時間以上の教育訓練に限る）を受講した者が発生した場合にのみ、15万円を支給（1事業所1回に限る）

また、制度利用者1名につき5万円支給（1事業所あたり延べ20人を限度）

・制度の利用促進に係る奨励金

中小企業の事業主に対して制度を導入してから3年経過後において、1年あたりの過去最大の制度利用者数と比較して、増加1名分あたり2万円を支給（年間5人分（10万円）を限度）

お問い合わせ先

独立行政法人雇用・能力開発機構の助成金の情報については、ホームページでもご案内しております。

URL:<http://www.ehdo.go.jp/gyomu/index5.html>

いいこよう  
**0570-001154**  
(全国共通)

- ご利用時間は、9:00～17:00（土・日・祝日は休業）です。
- 最寄りの機構各都道府県センターに自動転送されます。
- 携帯電話・PHSからはご利用になれません。
- NTT以外の回線は、一部つながらない場合もあります。

注) このリーフレットは平成19年2月現在のものです。

## 男女雇用機会均等法が変わります！

いも禁止されます  
より解雇その他不利益取扱

平成19年4月1日スタート

②

妊娠中や産後1年内に解雇された場合、事業主が妊娠・出産・産前産後休業の取得その他の省令で定める

職場に働く人が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分發揮することができる雇用環境を整備するため、性別による

差別禁止の範囲の拡大、妊娠等を理由とする不利益取扱いの禁止等を定めた改正男女雇用機会均等法

がスタートします。

改正のポイント

- 性別による差別禁止の範囲の拡大
- 男性に対する差別も禁止されます
- 間接差別が禁止されます
- 妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止
- 妊娠・出産・産前産後休業の取得を理由とする解雇に

■ 計報

中山喬喜さん

組合事務所 分析担当  
平成19年2月1日逝去

享年63歳

高林源二さん

三善工業(株) 会長  
理事 高林佳司氏ご尊父  
平成19年2月5日逝去

享年87歳

表紙の写真、埼玉県障害者交流センターは障害ある人の社会活動分野における全県的な拠点施設として、平成2年4月に浦和市（現在のさいたま市）に開設しました。各種相談や研修をはじめ、文化芸術活動やスポーツ活動の振興を図るための事業を総合的に展開しています。

組合の役員改選により、次号より新総務委員長となります。

今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

〒133-0185  
さいたま市浦和区大原

3-10-1  
お問い合わせ  
・文化芸術担当

048(834)2243  
近くの労働局雇用均等室へ  
問合せ先 埼玉労働局雇用均等室

電話 048-600-6210

編集後記

